

## 在籍学級担任様



杉並区立高井戸第四小学校

令和3年2月1日

# ことばの教室だよ！ 2月



まだまだ寒い日は続いていますが、日中の穏やかな日差し、風の感触、気温の変化など少しずつ春の気配を感じられるようになってきました。朝晩と日中の寒暖差は大きいので、体調を崩さないように気を付けてお過ごしください。今年度の通級も残り少なくなり、一回ごとの指導を大事にして、子供たち一人一人が「できるようになった」「この一年間頑張った」と思えるようにしてまいります。

## 行事予定

### <2月>

- 13日(土) 高四小 土曜授業
- 15日(月) 区難言定例会(午前)
- 16日(火) 入級検討部会(午前)
- 27日(土) 高四小 土曜授業



### <3月>

- 8日(月) 区難言定例会(午前)
- 9日(火) 都難言ブロック研究会(午後)
- 10日(水) 通級終了
- 13日(土) 高四小 土曜授業
- 15日(月)～19(金) 個人面談週間
- 16日(火) 個別指導計画(報告書)発行
- 24日(水) 高四小 修了式
- 25日(木) 高四小 卒業式



3月に予定していた「おわりの会」ですが、情勢がみえない状況なので、安全を考慮して今年度は実施しないこととしました。その代わりに、今年度を振り返って、子供たちの思い(例：できるようになったこと、これから頑張りたいこと)を間接的に交流したいと考えております。通級の際に、各担当から適宜声を掛けさせていただきます。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

**感染症等による学校閉鎖、学級閉鎖の場合は、通級できません。**

**本人やご家族に発熱などの風邪症状がある場合も、通級をお控えください。**

感染拡大防止のため、ご協力をお願いいたします。



共生社会教育 「聴覚障害およびそのコミュニケーションについて」 ～高井戸第四小 5年生～

1月23日の土曜授業で、区内にある都立中央ろう学校から熊田隆弥先生と手話通訳として山澤慎一先生をお迎えし、高井戸第四小の5年生に向けて授業をしていただきました。簡単な挨拶等の手話やその語源、聞こえない人のコミュニケーション方法や日常生活での工夫、ろう学校と一般の学校との違いなど、聴覚障害のある熊田先生が、ご自身の体験も交えながらお話ししてくださいました。また、「聞こえない」とはどのようなことなのかを考えたり、補聴器を使えば問題がなくなるというわけではないことを知ったりしました。手話と指文字を使って自己紹介体験もしました。お互いの違いを認め、共に生きることを学ぶよい機会になれば幸いです。子供たちの感想の一部を次号で紹介する予定です。



12月21日(月)実施

## ～高井戸第四小 3年生の感想～

### 共生社会教育「だれにでも得意なことや苦手なことがある」

前号でお伝えしていました高井戸第四小の3年生に向けた共生社会教育「だれにでも得意なことや苦手なことがある」の授業(日本や世界で活躍している人たちを例に挙げて紹介・自分の得意なことや苦手なことを考える等)について、子供たちの感想を載せました。一人一人が一生懸命考えて書いてくれたことがよく伝わってきます。いくつかご紹介しますので、3年生の思いをぜひご覧ください。



- 他の人にはできないようなすごさがある人も、裏には苦手なことがあるということを知った。
- 誰にでも苦手なことや得意なことがあるということ、そのためにたくさんの努力をしている人もいるということを知った。
- 苦手なことがあっても活躍していたので、すごい人だと思った。苦手なことでも、挑戦する気持ちが大事だと思った。
- 自分の一番得意な勉強は仲のよい友達が苦手だったり、友達の得意な教科は自分が苦手だったりしておもしろいと思った。
- 苦手なことや得意なことが人それぞれあることが分かった。同じことを思っている理由が違った。



「理由が違って、おもしろいな。」「理由が違って、不思議だな。」など気持ちの表し方も様々でした。

「人は考えていることが違うから、おもしろいなと思った。」「一人一人個性がたくさんあって、すごいと思った。」という感想もありました。

- 自分の気持ちをみんなに伝えられた。
- 友達の苦手なことや得意なことを知れたし、自分のことも振り返れてよかった。
- 少しずつでも苦手なことができるようになりたい。
- 得意なことをみたくこともするけど、苦手なこともやる。
- 苦手や得意をいかそうと思った。
- みんなのことが分かってよかった。
- みんな、いろいろな得意なこと、苦手なことがあって、いいな。役に立ってほしいなと思った。
- 一人一人に苦手なことと得意なことがあるってことは、みんなで助け合いたいなと思った。



「苦手とは、どういうことだろう?」と言葉の意味も考えながら学習する子や「得意なことや苦手なことを自分で分かったことが分かった。」と自分自身に気付く子もいました。「十人十色」と書いている子もいました。みんな素敵ですね!

